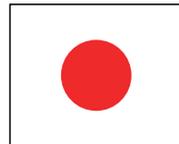


# 神・自然・人間は本来一体である “新しい文明”の基礎づくりを進めよう！



祝日は国旗を掲揚しましょう。

皇紀2680年  
一霜月一  
11月号

発行所  
生長の家 両丹道場  
舞鶴市字北吸 497 番地  
TEL (0773) 62-1443  
FAX (0773) 63-7861  
白鳩会 (0773) 63-5080  
発行人 伊藤 夏樹  
編集人 船木 悟

◎ “自然と共に伸びる運動”の実現のため、  
“神においてすべて一体”の宗教心を多くの人に広げよう！  
◎ 第一線の「誌友会・母親教室」を活発に開催して、壮年層会員の拡大と普及誌購読者・聖使命会員拡大の一年にしよう！



“新しい文明”とは何か？（抜粋）

生長の家総裁 谷口雅宣

“新しい文明”への道は、私たちのすぐ目の前にあるのです。それは、“旧文明”の効率化、省力化、自動化の流れの中で見過ごされ、軽視され、避けられてきたかもしれないが、昔から人類が行ってきた活動の中にある。それをひとりでいえば、「自分の肉体をきちんと使う」ということです。すぐに既製品を買うのではなく、自分で工夫して作ってみる。「肉体を使う」ことは「頭を使わない」ことではありません。肉体を使えば脳が活性化し、新しい発想が生まれます。「面倒くさい」と思っても知れないけれども、やってみてください。必ず創造の喜びが湧き出てくるでしょう。神様は、私たちが喜びを得る道具として肉体を与えてくださったのですから、それを活用しないといけません。肉体は使わないと、どんどん衰えていきます。私たちの“神の子”の本性を表現するために、肉体に感謝し、大切に世話しながらフルに活用する。それは肉体の欲望に従うことではありません。それを制御しつつ、自然と一体である「神の子の本性」を表現するのです。

『“新しい文明”を築こう』中巻 実践篇「運動の具体的展開」九十六〜九十七頁

今こそ「大調和の神示」の教えを

京都第二教区教化部長 伊藤 夏樹

今年も道場の畑に植えたヘチマからタワシを作ることができました。

二年目の今年はヘチマを育てるのに少し工夫もしました。去年は柵にポリエチレンの網を使いでしたが、今年は竹を切つて柱とし、麻ひもを何段にも横に渡したものを手作りしました。確かにポリ網や支柱を買えば柵は簡単にできます。しかし、面倒でしたがその手作りした柵で育つヘチマは昨年よりいっそう愛おしく思えたから不思議です。

愛おしいといえば、今年も元気に受粉に活躍してくれたクマバチ。かつては私も避けていたあんなに恐ろしい姿カタチの彼らですが、わき目もふらず黄色の花から花へ一所懸命飛び回る姿は、実にかわいくて愛おしい。そして小さな実がなり、どんどん大きくなっていくのを「あーこれがムスビの働きなのだ」と実感でき、もうクマバチが大好きになりました。これはヘチマを育てるなかで得た思いがけず嬉しかったことのひとつです。

でも、ヘチマを育てるのは決して楽なことではありません。もちろん毎日の水やりがあります。意外と手入れも必要です。また、苗の頃には若葉

を食べるダンゴムシの襲来に悩まされ、少し大きくなってからは地中から根っこを突き上げて地表にさらしてしまうモグラや、あたりかまわず掘り起こすイノシシにも悩まされました。そしてその度に、私は鍬やシャベルを持ってヘチマの救済作業に追われました。

タワシなんてヘチマでそんなに苦労しなくても、お店に行けばもつと質のいいものが安価でももちろん知っています。それでも今こうして自然のなかで体を使って手間暇かけて作り出したタワシを手にとると、使い勝手は少々悪そうでも既製品からは感じられない、なんとも嬉しい満足感でいっぱいになるのです。

ところで作家の佐藤愛子さんが、次のような話を書いていました。少し長いですが…。

昔話のおばあさんは川で洗濯をしていた。私などの子供の頃は井戸から釣瓶でタライに水を汲み上げて、洗濯物を洗濯板の上でこすっていた。それから井戸にポンプをつけて、ギーコギーコとポンプを押せばザアザアと景気よく水が出る仕組みが考え出され、ほんとに楽になったねえ、有難いねえ、と女たちは喜んだものである。

そうしてやがて「水道」が設置されるようになって

て、蛇口をひねりさえすればいつでも水には不自由しなくなった。はじめは二階では使えなかった水が、間もなく二階、三階はおろか二十階、三十階、どこでも平気で出る。それが当たり前のことで、萬が一、何かの事故で出ないことがあると、水道局には文句の電話が鳴り響く。「これじゃ生活出来ないじゃないの！どうしてくれるのよ！」

と喚く人がいるそうで、そういう人に、「昔を思いなさい。桃太郎のおばあさんは川で洗濯してたんですよ！それからギーコギーコとポンプを押して…」などといったも、バカ！うるさい！の一言で片づけられるだろう。

『九十歳。なにがめでたい』

大笑いして読みましたけど、笑い話ではないのですね。効率化、省力化、自動化に向かう文明（旧文明）に慣れてしまった私たちは、もつと肉体をしっかりと使うという本当は大切な生活を、完全に軽視し、避けてしまっているようです。これはよくないことです。例えばすぐに既製品を買うのではなく、自分で工夫し肉体を使って作ってみることで。そうすれば「面倒くさい」と思っても知れないけれども、必ず創造の喜びが湧き出てくること。――一面の総裁先生の御文章を読みながら、私がヘチマのタワシ作りで体験したのは、小さなことですが、まさにこれだと思いました。そして生活のいろいろな面においてこの努力をするならば、どんなに大きな喜びが得られるだろうとも思いました。『新しい文明』への道は、確かに私たちの目の前にあります。総裁先生のご指導をしっかりと心にため、皆様と一緒にこの道を力強く前進したいと思えます。

『青年会便り』

青年会事務局長 渡利 あすか

「人々の健康と幸福のために」

今年には新型コロナウイルス感染症防止の影響で、人々は常にマスクをつけ、手洗い、うがい、また手の消毒等、衛生に気を使って生活する方が多くなっています。日時計24hのTVを拝読していると、谷口清超先生のこんなご文章が載っていました。

『よく信仰と健康とは無関係のように言う人もあるが、決してそんなものではない。人がもし、本当の信仰をもてば、自分の幸福や安心立命ばかりではなく、人々への思いやりや家族への愛念が生ずる。そして、自分も健康になり、家族達を安心させたいと思わない筈はないのである。では、どうしたら健康になったのしい生活を送ることが出来るのであろうか。先ず第一に「明るい心」になり、感謝の毎日を送ることである。』

マスクの装着と衛生意識を高く保つことに加え、信仰心をもって心と体の健康維持に努めたいと思えます。

両丹道場境内地にV2H設置

去る八月六日、生長の家両丹道場にてV2H（Vehicle to Home）の略で、電気自動車の電力を家庭用の電力供給源として利用することを指します。装置二台を設置いたしました。これにより公用車・日産リーフが両丹道場及び新道場の電力供給源となり、停電時でも両丹道場事務局室は室内灯、電話、FAX、e-mailが使用可能になります。

また太陽光発電装置の側に設置したV2Hは太陽光発電の電力をリーフに充電することが可能です。電力が数日止まった時でも同装置の電力を使って充電できるため、災害時の長期の停電にも対応できますのでいざという時の力強い味方になってくれます。



～ 地方講師会だより ～

合掌ありがとうございます。

地方講師・光明実践委員の皆様には、人類光明化運動、『新しい文明の基礎づくり』にご尽力頂いていますことを心より感謝申し上げます。

去る九月二十日（日）十時～十時四十五分、ZOOM使用の研修会を開催致しました。参加者は三十一名でした。新任講師の中村洋子講師と油利由美子講師のお二人に挨拶並びに抱負を發表して頂きました。今後のお二方のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

研修内容は、伊藤夏樹教化部長のご指導のもと、機関誌九月号、三十四頁「そのままの心」、谷口清超先生著『人は天窓から入る』一八五頁～一八七頁。同研修会では、今ここにある幸せを実感することこそ、最強の生活である、神様はすでに、善きもののみをお与えになっている！と勉強させていただきました。

十一月度地方講師・光明実践委員ZOOM使用の研修会のご案内

日時・令和二年十一月二十九日（日）十時～十時四十五分

テキスト…会員必携書『新しい文明を築こう』上巻（基礎編）

中巻（実践編）

『生長の家』機関誌当月号。普及誌三誌No. 一二九

※活動報告書は毎月一〇日までに提出してくださいますようお願いいたします。



**Web 組織指導**

9月16日（水）に森田美穂副会長のご指導によるZoomでの組織指導に正副会長が出席しました。『“新しい文明”を築こう』上巻・中巻と機関誌をテキストに、ネットフォーラム開催の推進、三正行の実践についてご指導を頂きました。

**10月度の対策部だより****普及誌購読者拡大**

皆様より日々、購読者拡大へのお力添えを頂いておりますこと心から感謝申し上げます。ありがとうございます。生長の家普及誌『いのちの環』『白鳩』『日時計24』は、生長の家の「人間・神の子」の教えに基づいて、自分らしく生きること、健やかに暮らす秘訣、家族や子供の幸せ、いのちの尊さ、自然と調和したライフスタイル、環境問題・エネルギー問題など、様々なテーマを取り上げております。普及誌の新年度は2月号より始まります。（12月10日〆切分より）どうか、年度初めより新規購読者がありますように、よろしくお願い致します。

普及誌に次ぎの方々の投稿が記載されています。おめでとうございます。

No.127『白鳩』白鳩歌壇 網野峰山総連 赤岩邦子様

No.127『いのちの環』俳壇 綾部総連 大槻紀子様 絵手紙ポスト 舞鶴地区連 河合智暉様

**聖使命会員拡大**

久美浜大宮総連：市野々支部の聖使命会員様の体験談をご紹介します。

久美浜地区市野々支部の聖使命会員Tさんは、講習会にも参加され、普及誌も購読されておられます。しかし、息子長男に子供が中々授からず悩んでおられました。そこで、数年前に副会長の勧めで赤ちゃんを聖使命会員に入会されました。それでも中々授からず、昨年長男夫婦が宇治に子宝祈願、流産児供養にお参りされました。何故か心の荷が下りたような軽やかな気分になられたそうです。それから数か月してめでたく懐妊され、令和2年8月21日に男児が誕生されました。

大変嬉しいご報告を頂きました。T様宅のお幸せを祈り、ご愛念で入会を勧められた副会長、そして、献資を納め続けてくださったT様。ご先祖様がさぞかしお喜びになったことと思います。

**支部・誌友会・会員**

山々の木々も色を変える季節になりました。コロナ自粛生活も長くなりましたね。でも良いこともありました。手作りマスク、マイバック…。心が明るくなれば明るい出来事が訪れます。ありがとうございます。

<うちんとこの誌友会>

ありがとうございます。福知山総連川口支部です。信仰深い朗らかな誌友さんばかりです。

現在自粛中ですが、DVDの動画で谷口雅宣先生、谷口純子先生のお話や日常生活を視聴させて頂き、両総裁先生をととても身近に感じ元気を頂いております。心を繋ぐ誌友会が開催出来る日を心から待ち望んでおります。

# 令和2年11月度行事予定

16	15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	日
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	曜
	(相) 正副・地区連会長会議 (10時)		幹事会 (10時) 五者会議	〔道場休館日〕	先祖供養祭 (10時) 【オンライン】	浄心行 (10時) 【オンライン】					〔道場休館日〕	(教区) 献労の日 (有志のみ) (講) 講師派遣委員会 (10時)	文化の日〔道場休館日〕		聖使命感謝奉納祭	本部・教化部行事
																教化部長
西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	早朝行事担当

30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	日
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	曜
	(講) 地方講師・光実一日研修会 (10時) 及び同役員会・【オンライン】 (10時45分)		(白) 総連会長・対策部長担当会議 (10時) 【オンライン】	〔道場休館日〕	(白) 正副会長会議 (10時) 【オンライン】		勤労感謝の日〔道場休館日〕	秋季記念式典	秋季大祭	普及誌仕分け日	〔道場休館日〕	住吉神社月次祭 (10時) 【オンライン】		本部・教化部行事
														教化部長
西村・藤原美	富永	近藤・藤原	伊藤教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	西村・藤原美	富永	近藤・藤原	教化部長	休み	河合・船木	大西・河田	早朝行事担当

☆各組織の会議・研修会はオンラインを予定しております。  
また、先祖供養祭、住吉神社月次祭、浄心行はフェイスブックで会員へラ  
イブ動画を配信しておりますのでご活用ください。

☆令和2年7月豪雨被災者支援募金ありがとうございます  
 ・一般支援募金 43,965円・信徒支援募金 63,282円  
 ☆お賽銭ありがとうございます  
 13,915円  
 ☆献納ありがとうございます。  
 ・河内 宮子 2,000円 ・白波瀬キクノ 敬称略

新型コロナウイルス感染拡大防止の対応について  
 日本国内及び全世界ではいまだ感染者が後を絶たず、第二波の懸念が続く中、道場ではこれまで通り、感染予防対策を維持していく予定です。ご不便をおかけいたしますが、ご理解とご協力の程お願い申し上げます。